

記入例 水質基準対象施設の場合

記入例

様式第 1 (第 4 条関係)

特定施設設置(使用、変更)届出書

令和〇〇年 〇月 〇日

千葉県知事 〇〇 〇〇 様

千葉縣市原市千種海岸〇-〇

届出者 千葉工業株式会社

代表取締役社長 千葉 太郎

TEL 043-〇〇〇-△△△△

ダイオキシン類対策特別措置法 第 12 条第 1 項 (第 13 条第 1 項 又は 第 2 項、第 14 条第 1 項) の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業所の名称	千葉工業株式会社市原工場	※ 整理番号	
工場又は事業所の所在地	市原市五井南海岸△	※ 受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	1 2 アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する廃ガス洗浄施設 1 基	※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙 1、水質基準対象施設にあつては別紙 4 のとおり。	※ 審査結果	水質基準対象施設の種 類と数を記入。
△ 特定施設の使用方法	大気基準適用施設にあつては別紙 2、水質基準対象施設にあつては別紙 5 のとおり。	※ 備考	
△ 発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理方法	大気基準適用施設にあつては別紙 3、水質基準対象施設にあつては別紙 6 のとおり。		連絡先と産業分類を 記入。

(連絡先) 千葉工業株式会社市原工場 工務課 千葉 次郎 043-〇〇〇-△△△△

(産業分類) 1 4 5 3 段ボール箱製造業 資本金：3 0 0 0 万円

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類特別措置法施行令別表第 1、水質基準対象施設にあつては同令別表第 2 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
  - 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙 4

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
特定施設番号及び名称	12 アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する廃ガス洗浄施設	
型式	充填等方式 (イオンスクラバー)	
構造	集じん機、洗浄塔	
主要寸法	12,000×12,000×10,000 mm	
能力	廃ガス処理量 400 m <sup>3</sup> /min	
配置	別添のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。  
 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

## 特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1			
設 置 場 所	別紙のとおり			
操 業 の 系 統	別紙のとおり			
使 用 時 間 間 隔	8 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0			
1 日 当 た り の 使 用 時 間	1 0 時 間			
使 用 の 季 節 的 変 動	なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	苛性ソーダ（中和用） 1, 0 0 0 L / 日			
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
	ダイオキシン類 5 pg-TEQ/L	ダイオキシン類 8 pg-TEQ/L		
汚水等の量（m <sup>3</sup> /日）	通常	最大	通常	最大
	5 0	8 0		
その他参考となるべき事項	No.1 焼却炉から発生する 廃ガス処理を行う。			

ガス等を発生する大気基準適用  
施設を記入してください。

汚水等の処理の方法

記入例

工場又は事業場における 施設番号	No. 1								
処理施設の設置場所	別添のとおり								
設置年月日	年 月 日								
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日								
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日								
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日								
種類及び型式	凝集沈殿（自動式）								
構造	PE 製								
主要寸法	30,000×5,800×4,500 mm								
能力	120 m <sup>3</sup> /日								
処理の方式	凝集沈殿								
処理の系統	別添のとおり								
集水及び導水の方法	別添のとおり								
使用時間間隔	連続								
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの 用途別使用量	凝集剤 2L/日 硫酸アルミニウム 20L/日								
汚水等の汚染状態及び 量 (m <sup>3</sup> /日)		通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	5	1	8	2					
量 (m <sup>3</sup> /日)	50	50	80	80					
残さの種類、1月間の種類 別生成量及び処理方法	汚泥 200kg (産業廃棄物場外処分)								
排出水の排出方法	別添のとおり								
その他の参考となるべき 事項	外部への流出はなし。								

ダイオキシン類の発生箇所からの汚水処理、排水までの工程をフローシートで添付してください。

外部への排出がない場合等に記入してください。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。